

令和7年4月7日 第2229回例会

RI第2730地区

宮崎南ロータリークラブ

週報



変化を楽しみ、さらにロータリーの価値を高めよう！

4月の月間
環境月間

本日の例会プログラム 第2230回例会 令和7年4月14日

- ・会員卓話 菊池 武英 会員
- ・ビジター卓話 富田 紋子 様（チェンマイ北 RC）

出席委員会報告

島田博良委員長

●出席状況

日 状 況	
会員数	59名
本日出席者数	41名
本日欠席者数	18名
出席率	69.49%

前々回修正出席状況	
メイクアップ数	0名
修正出席率	89.83%
メイクアップされた方(敬称略)	

ニコニコ BOX	1件 累計	2,000円 72,000円
-------------	----------	-------------------

募金箱	5,832円 累計 158,039円
-----	-----------------------

会長挨拶

大迫雅浩会長



皆さん、こんにちは。

4月に入り、新年度がスタートしました。街には新入社員らしき若者の姿が目立ち、フレッシュな空気を感じます。皆さんも、自分が社会人として第一歩を踏み出した頃のことを、少し思い出されたのではないのでしょうか。弊社も久方ぶりに新卒の新入社員を迎えることができました。1月から中途採用3人も含めて4名が入社しました。それを踏まえて朝の営業朝礼の中でスタッフが言っていたコメントが印象的でしたのでご紹介します。「自分には、気持ちを新たにするタイミングが、年に3回ある。それは、新たな期が始まる9月、そして新年を迎える1月、そして新入学・新入社員が入ってくる4月」その都度、気持ちをリセットできる。反省もしかり、決意もしかり、都度リセットしたこの気持ちや感情を大切にしたい。とのこと。そして、誰かの言葉らしいのですが、こんなことも言っていました。「人はあなたの言ったことは忘れるかもしれない。でもどう感じさせてくれたかは覚えている」時に「言葉」より「感情」が記憶に残ります。新入社員は新しい環境へと踏み出す節目でもあります。社会へ第一歩を踏み出した若者たちの不安と期待が入り混じっています。その時に感じた想いや、新入社員たちに「良い記憶」が残せるよう、大事にしていきたい。そんなリセットできる時間にしたい。

私たちロータリアンにとっても、初心を思い出し、「奉仕の理想」を改めて心に刻む、良い節目の季節にできると良いなと思います。新会員

のみならず、我々中堅も色々と勉強しなおすすめ機会もつくれたら良いなと思いました。

さて今日は、「万博」について少し触れたいと思います。2025年の大阪・関西万博まで、いよいよ1週間を切りました。来週の日曜日、4月13日～10月13日月曜日まで開催されます。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。未来の暮らしや技術、そして持続可能な社会のあり方を世界に発信する場となります。

前売り券が予想外に売れない状況もあるようですが、来場予定者数は6か月で2,820万人、1日平均15.5万人。その割には事前告知が遅れ気味のような気がします。ちなみに、テーマパーク入場者数、世界3位のUSJが年間1,235万人、1日平均3.4万人。関西万博にはたしてUSJの4～5倍の入場者数が確保できるのか??とも感じますが、私も行きたいと思いますし、応援もしたいと思っています。

前回の万博は今から55年前、1970年に大阪で開催されました。私は4歳。

当時、日本は高度経済成長の真っ只中。万博のシンボル「太陽の塔」や、最先端の技術展示に、国内外から人々が熱狂し、日本が世界に向けて躍進する大きなきっかけとなりました。77カ国、約6,422万人の方が訪れたそうです。

前回の万博を経験した世代がいまの日本の礎を築き、そして今、2025年の万博を迎える私たちは、次の世代にバトンを渡す立場です。未来を担う新入社員たちが、誇りと希望をもって社会に羽ばたいていけるよう、地域からも後押し

をしていきたいものですね。

宮崎は距離こそ離れていますが、だからこそ「地方から世界へ」と発信できる可能性もあります。私たちロータリークラブも、小さな活動の積み重ねが、未来をつくる一歩になると信じています。そして地域や社会に貢献しながら、人の心に残る活動を続けていきたいものだなと思います。

新年度がスタートするこの4月、皆さまと共に充実した一年を歩んでいけることを願いながら、引き続きご協力をお願い申し上げます。

さあ 今日、新しい週のはじまりです！

上機嫌で!! 楽しく1週間を過ごしましょう!!!

幹事報告

日高安隆副幹事



本日は、大浦幹事欠席の為、代わりに幹事報告させていただきます。

報告事項は2点となります。

1. 国際ロータリー為替レート

1ドル/150円となっています。

2. エコキャップ推進協会より

今回2,150個の受領報告があり、累計個数342,022個となりました。

皆様のご協力誠にありがとうございました。

ニコニコBOX



長澤好太郎会員

第4回OBS九州女子ジュニアゴルフ

大会にて、弊社にてサポートしているエナジックスポーツ高等学院2年生の片岡彩実里ちゃんが準優勝しました。上位2名には大分県にて開催されるフンドーキンレディースに出場出来るので応援してきます。

●結婚月

高山周栄会員、杉本英一会員



●誕生月

日高章智会員、大野 勇会員、富井雄二会員
池田靖洋会員



戸高勝利ガバナー補佐より報告

戸高勝利ガバナー補佐



今日はロータリー奉仕デーの事で皆さんへ報告とお願いがあります。

この事業はIMと同じスタンスで考えていただくと解りやすくなります。

開催日は6月8日(日)

時間: 10:00 ~ 12:00

場所: 青島神社社務所集合

奉仕内容は海岸美化を目的に今注目されている青島の青島神社北側周辺にたまっている流木除去プロジェクトであります。

宮崎市環境業務課様、青島神社様のご指導等頂きながら薦める手配であります。まずは本日举行される理事会に図り詳細を決めていきたく思いますので、皆様のご理解とご参加を宜しくお願いいたします。

新会員卓話

小坂鷹亮会員



改めまして、小坂鷹亮と申します。1983年生まれの41歳でございます。私は東京都杉並区で生まれ、大学を卒業するまで20年ほどを八王子市のベッドタウン多摩ニュータウンで育ちました。両親は今も八王子に住んでおり、三つ上の兄が横浜におります。私は妻と9歳7歳の小学生の娘がおりまして、横浜市神奈川区の自宅に家族を残して、単身赴任で宮崎に参りました。

私の学生時代は二つの時期に分かれます。一つ目の小中高はもっぱらサッカー部でボール蹴りに明け暮れていました。ポジションはFWで正直うまくはないですし、足も速い方ではないです。ただ思い

返してみると一つだけ他の人よりも持っているなという能力がありまして。カッコいい言い方をすればゴールへのきゅう覚のようなものがあったことで、よくごつつあんゴールを決めていました。長い間サッカーをしていたからなのかわかりませんが、やたらとここにボールがこぼれてくるなと思うことがあり、とにかく手以外のどこでもいいからゴールにねじ込むというのが私のサッカースタイルで昔のJリーグで言うと、ヴェルディの武田修宏選手のようなタイプでした。ただ正直に言うと武田選手を私は全然好きではなく、憧れ、崇拝していた選手は、イタリア代表にいたファンタジスタ、ロベルトバッジョという選手でございます。

二つ目は大学時代です。私は成蹊大学法学部を卒業しておりまして、よく学校名を出すと、お坊ちゃんだねと言われます。世間では確かにお坊ちゃんイメージですが、私の大学生活は坊ちゃんとは無縁でございました。親との約束で大学の学費の大半を自分で支払わなければならなかったため、私の大学生活はバイト一色でございました。

大学一年生から三年の途中まではピザラでバイトをしていました。稼がなければいけないため勤務時間も増えて、色々なことを任せていただき、ピザを作るし、デリバリーはするし、発注はするし、シフトの管理までして最終的にはバイトですが店長と言う大変貴重な経験をさせて頂きました。

更に三年生の途中からもっと稼いで海外に放浪の旅に出たいと思うようになり、より稼ぎのいい笑笑という居酒屋に移りました。笑笑ではキッチンを担当しておりまして、バイトながら一日15時間連続勤務や、休憩時間に疲れすぎて床で寝る、また焼き場で焼き鳥を深夜に作っている際に幻覚で焼き鳥の数が二本の筈なのに四本に見えたり、幻聴で勝手に来てもないオーダーを作ってしまうなど大変すばらしいブラックな体験のできる職場で働くことが出来ました。

ポジティブな私としては、このブラックな経験は当時ブラック代表と言われた、証券会社に入ってから環境的にしんどくても前のバイトと大して変わらん、と思えるようになり、すごく役に立ったと思います。また今でもピザを作ることが出来るので、出来立て熱々のピザを妻と娘たちに振舞えることは、家族団らんの素晴らしい一ページを残すことに大いに役立っております。

話は変わりますが私の仕事への想いをお伝えさせて頂きます。縁あって証券会社に入社しまして、振

出の岡崎支店、横浜の戸塚支店、東京本店、青森支店、現在の宮崎支店と色々な土地で仕事をさせて頂いてまいりまして。

私は証券営業が大好きで、日本中の方に証券投資をしていただきたいと本気で思っています。お金で苦労した分お金の有難みは少しわかるつもりではございますが、証券投資の成功と失敗の実体験を一つずつお話しさせていただきます。

成功体験は積立投資で結婚式です。

入社以来自社株をコツコツと毎月積立で買い続けております。私が入社した2006年の株価の高値は1,672円リーマンショックを経て2011年にはなんと235円まで株価が下がりました。その後アベノミクスが2013年から始まり株価は急回復して1,065円を付けます。私は2014年に結婚をしておりまして結婚式の費用を貯金していなかったのですが、最終的にはその時コツコツ毎月買っていた自社株が高い時も安い時も買い続けていたため、恐らく簿価500円程190万円の投資金額が売値1,050円400万円程度で売却でき、丁度結婚式の費用を工面することが出来ました。その後株価は2020年のコロナショックで356円を付けるまで下げ続けてしまったため結果としては非常にいいタイミングで資金化できたことになりました。

ただし二つ目の失敗はこの続きでございます。

結婚式を挙げるために売却した後も私は毎月の自社株買いを継続しておりました。アベノミクス後の株価は再度600円前後を行ったり来たりすることが多かったのですが、積立コツコツの信念の成功体験があるため気にせずにおりました。しかし、私はある時その信念を貫けませんでした。それはコロナショックによる暴落です。未知の恐怖に踊らされた私は折角買ってきた自社株を420円程度のところで損切してしまいました。お分かりの通りその後株価は利下げや半導体の活況日本株式40,000円とたった4年で急回復しました。売却した自社株を持っていれば一時1,200円でしたので約三倍になっていました。

以上の経験からお伝えしたいことは二点ございます。

1点目、積立でコツコツ投資も必要であること。
2点目、時間を味方につけ、時間をかけて期間分散することでリスクを低減すること。

この二つを合わせるとドルコスト平均法という考え方に至ります。資産の一部をこういった運用を継続することにより、皆さんの人生がより実りあるものに

なると自分の体験から確信しております。何か気になること、ほかにも失敗談、成功談はありますので詳しく聞いてみたいという方は是非私に一声おかけください。また正直に言いますとこの話は皆様のお子様、お孫様に一番聞いていただきたいお話です。時間を味方につけるには投資を早く開始することが一番重要ですのでお含み置き下さい。

最後になりますがお恥ずかしながら申し上げましたように、私の大学生活は勉強と無縁でございました。社会人になってから上司、お客様、お付き合いいただく全ての方から色々なことを学び今に至っております。この宮崎の地でも皆さんから少しでも何かを学び吸収できればと思っております、是非ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。以上で卓話とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

ロータリー情報委員会

大迫三郎副委員長



本日は、私がガバナー就任時、公式訪問の際にお聞きした、職業奉仕についての発表をご紹介します。

職業奉仕について

大野文夫会員(始良RC)

私は耳鼻咽喉科を開業しています。ロータリー入会は平成 11 年です。昭和 56 年に医学部を卒業し医者になって 30 年余りになります。学生時代、研修医時代を通して医業は金銭に惑わされることなく、患者のためになることをやればいいのだと青臭い考えでやっていました。奄美に帰省した折、奄美大島商工会議所会頭であった有村治峰さんから「医者は治療をして、大した効果がなくても治療費を請求している。このようなことはビジネス界ではありえない」と意見され、反発を覚えたこともありました。

時代が流れ、アメリカを中心として医療界にも費用対効果の概念を説く論文が目につくようになってきました。例えば「外科医の症例数が成績と治療費に及ぼす影響」、「脳外傷者リハビリテーションの費用対効果解析」、「集団検診の費用対効果」など、医療界もお金の話抜きでは通用しない時代になってきていたように感じます。それでも大学の医局、特に鹿大耳鼻科ではお金の話をする医者は低俗だという雰囲気が続いていました。

そのような医局から派遣されており、将来設計など無視して自分がもらっている給料が高い低いなど考えることなく、勤務医時代を約 15 年間過ごしてきたものですから、贅沢をしていたわけではないのですが貯蓄は当然わずかなものでした。

平成 9 年に旧始良町で開業することを決断するのですが、

生まれて初めての借金を、しかも多額の借入れをすることになります。また開業前後にはそれまで経験することなかった慣れない仕事（銀行、設計建築、行政、医師会、税理、スタッフの採用、出入りの業者との関わり等）が加わり、それらのプレッシャーに心が晴れない毎日を過ごしておりました。

丁度その頃医師会の集まりの場で、前田会長からロータリー入会のお誘いを受けました。家族にロータリアンがいたことからロータリーにはあまり違和感を持っていなかったし、始良の地に何のゆかりもなかった自分にとっては知り合いを増やすことができるよい機会ではと期待して入会させてもらった次第です。入会後は先輩方の温かいご指導の下、少しずつロータリーというものを勉強させていただきました。ただロータリーの研修に参加するためには医師一人の診療所は休診にしなければならず、経営面の問題もあるのですが、仕事を休むことに罪悪感を覚えてしまう旧人類の私は、ロータリーは職業奉仕を第一に掲げているはずなのになあと戸惑いを覚えました。

当時は開業初期ということもあって、最も自分自身のストレスとなっていた借金の問題を早く終わらせたいという欲望がありました。それは私自身でも意識しており、焦りから何か大きな過ちを招かないように注意しなければと自分に言い聞かせていました。そのために「先ず患者ありき、次にスタッフ、最後に自分の家族」ということをモットーにして仕事に当たっていたつもりです。

ロータリーで学ぶ機会を得て、それが四つのテスト「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」に変わりました。現在はいつも見ることができるよう診察台のすぐ横の壁に四つのテストを貼り、毎日仕事をしております。時々これを見て、自分が行った診療内容や患者への説明はこれに合致していると確認できると、迷いなくすっきりした気持ちで仕事を続けることができます。自分自身の戒めになると同時に、スタッフも何時も見ていますので、意識の共有にも役立っているのでは考えています。私自身四つのテストがとても気に入っているのですが、大学卒業と同時に入校した海上自衛隊幹部候補生学校で、一日の終わりに毎日唱和した五省を思い出します。

「至誠にもとるなかりしか、言行に恥ずるなかりしか、氣力に欠くるなかりしか、努力にうらみなかりしか、不精に亘るなかりしか」です。これもとても素晴らしい自省自戒の言葉ですが、人間ができていない私にとってはちょっとハードルが高きびしいかなと思います。そして五項目全てが自分自身のことだけで、一種の自己満足を目的としているように感じられます。それに対して四つのテストは自分自身のこととともに、周囲への気配りを有り余るほど含んでいるように思われ、私の世渡りの道しるべとして合っているようです。